



ちやたん町

ニライの都めざす  
東京

# 議会だより



玉上外人住宅地域の大ガジュマル

'99 2月撮影

16  
号

'98 12月議会

一般会計補正予算（第4号）	2
十二月定例会	3
地域振興券	4
基地被害の実態を調査	5
一般質問	6
意見書	11

## ◆12月定例会で審議された議案

議案名	主な内容
◆平成10年度北谷町一般会計補正予算 (第4号)	◆補正総額1億8,130万6千円 ◆児童手当・老人保護措置等に伴う扶助費2,094万3千円 ◆普通建設事業費1億836万円
◆平成10年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◆補正総額2,062万9千円 ◆出産育児一時金600万円
◆北谷町税条例の一部を改正する条例	◆地方税法の一部改正、特定非営利活動促進法等の施行に伴うもの
◆北谷町火災予防条例の一部を改正する条例	◆消防法等の一部改正に伴うもの
◆北谷町道路占用料徴収条例	◆道路法の規定に基づき条例を制定し、占用料を徴収していく。
◆北谷町防災行政無線放送施設設置工事 (固定系親局、固定系子局、移動系基地局) 請負契約について	◆契約金額5,355万円 ◆契約相手(株)興洋電子
◆比謝川行政事務組合への加入について	◆平成12年度から導入される介護保険認定に関する事務を共同処理するため。
◆監査委員の選任について	◆北谷町字玉上154番地 崎原盛喜氏を再任
◆平成9年度北谷町水道事業会計決算認定について	◆水道事業収益7億850万6,917円 ◆水道事業費用6億5,082万1,646円 ◆資本的収入2億2,755万3,000円 ◆資本的支出3億4,113万0,873円
◆平成9年度北谷町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	◆歳入総額5億4,339万9,172円 ◆歳出総額5億2,895万6,043円 ◆差引残高1,444万3,129円
◆個人立專修学校における固定資産税の減免について(陳情)	◆陳情者:専修学校サイ・テク・カレッジ 北谷町美浜1丁目5-16
◆年金改悪に反対し、安心して暮らせる老後の保障を求める陳情書	◆陳情者:沖縄県社会保障推進協議会
◆年金制度改定に関する意見書	◆意見書の内容:12ページに掲載

## 介護保険



問 委託料とは  
(一千五百万円)

答 介護保険者として必要な業務である資格管理記録、保険料納付管理、受給者管理及び給付実績業務についての電算処理方式を導入する。

平成十年十二月十四日から二十二日まで北谷町議会定例会が開催され、一般会計補正予算では、介護保険事業関係や新川自然ふれあい公園関係、美浜地区関係などに質疑がかわされました。

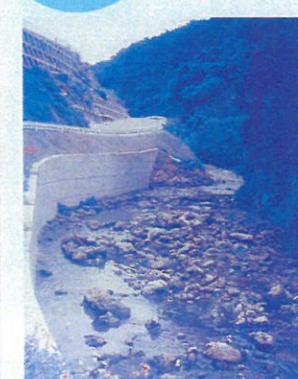
**補正予算可決で  
総額百三十六億二千六百万円に  
(一般会計)一億八千万円を増額補正**

## 美浜地区を一部用途変更



問 用途変更の場所と目的は  
(六三万九千円)

答 メイクマン向かいの町高層の用途から商業地に変更し、アメリカンビレッジの関連業種を配置したい。



## 新川自然ふれあい公園

問 用地購入面積と進捗状況は  
(七百九万九千円)

答 今回三百二二平方メートルの用地購入費を計上している。今回の購入で、全部の用地取得が完了することになる。

問 町火災予防条例を一部  
改正の内容は

答 消防法等の一部改正に伴うもので、その内容は、危険物の貯蔵・取扱者に対する罰金額が「十万円」から「二十万円」への引き上げ等です。

問 比謝川行政組合へ加入  
理由は

答 平成十二年度から介護保険制度がスタートしますが、それに対応していくための業務として、保険給付のための要介護について審査する介護保険認定審査会の設置が必要となつてきます。その業務や人件費の軽減と認定審査の客観性を保つため、お隣の嘉手納町、読谷村が共同で組織している組合へ平成十一年四月一日から加入していきます。



町議会基地対策特別委員会は、米軍基地からの被害の実態を調査するため平成十一年一月十九日(火)午後七時から砂辺公民館で委員会を開催した。同委員会に説明員として、砂辺区の与儀正仁区長他十一名の地域住民の出席を要請し、航空機の騒音や住宅防音、米軍人の事件・事故等について調査を行った。

町議会の出席の要請に対し、騒音区域に指定されている地域の住民や、米軍基地を抱える自治体へも出向き調査を深め政府への要望を具体的にまとめ請行動を展開していく。

## 岩国基地を視察



北谷町議会基地対策特別委員会は、平成十一年二月十七日(土)十九日の日程で行政視察修を行いました。今回の研修の主な目的は、山口県岩国基地、広島県原爆ドーム、原爆資料館等を視察し、今後の会活動に活かして行こうとい

岩国市では、国に対し7項目の要望事項が出されていますが、全て防音工事に関することであり、基地周辺地域住民の航空機騒音被害の実態が改めて浮き彫りにされた感があります。

「昭和二十年八月六日八時十五分、広島市に原子爆弾が投下された次の瞬間には、広島は見る影もない焼け野と化し、黒焦げになった死体が何処となく瓦礫の中に転がっていました。辛うじて生き延びた人々は、衣服は無残なまでに焼き焦がれ裸同然の姿になら、熱光線は皮膚までも溶かし、まるでこの世のものとは思えない地獄絵図を見た。これが、「原爆資料館」を見学しての印象であります。

そして、このような悲劇を二度と繰り返さない努力を尽くすことが、今に生きる私たちの責務であることを強く感じました。

砂辺区

## 基地被害の実態を調査

町議会云基地対策特別委員会

住民生活に密接にかかわりのある三婦人科、保育所職員などが駆けつけた。同地域は嘉手納基地に隣接し、飛行場からの航空機騒音が激しい所で、「集落上空での飛行訓練はやめさせてほしい。」「早朝のエンジン調整音で目がさめ眠れない。」「保育所の子どもたちも頭上を飛ぶ戦闘機に思わず耳をふさぐ。」などと深刻な表情で訴えていた。また、住宅防音については、「防音効果を高めるため窓を締め切ると電気代がかさむ。困窮家庭はクーラーがあつても使用できない。電気代の国の一部負担はできないか。」などの意見も相次いだ。

その他にも、「住民の集団移転の動きがあるが、愛着のある地域の過疎化を食い止める施策こそ今必要なことではないか。」とか「夜間の米兵の民間地域での行動についてとても不安である。」など約二時間半にわたって意見が続出した。

基地対策委員会では、今後、継続して調査を進めるとともに、本土の基地を抱える自治体へも出向き調査を深め政府への要望を具体的にまとめ請行動を展開していく。

## 1月臨時議会

### 一般会計補正予算、全会一致で可決 —2億6千5百万円を追加—

1月21日に臨時議会が開催され、平成10年度一般会計補正予算(第5号)等が原案可決されました。補正予算の主な内容は次のとおり。



## 地域振興券

地域振興券については、特に若い親の子育てを支援し、老齢福祉年金の受給者や所得が低い高齢者ともに個人消費の喚起、地域経済の活性化を図り、地域振興に資することを目的としています。

- |          |  |
|----------|--|
| <b>問</b> | 地域振興券について、特に若い親の子育てを支援し、老齢福祉年金の受給者や所得が低い高齢者ともに個人消費の喚起、地域経済の活性化を図り、地域振興に資することを目的としています。 |
| <b>答</b> | 偽造防止のため、特殊印刷が必要ですので、それに対応できる業者に発注できないか。  |
| <b>問</b> | 券の印刷は町内業者に発注している。  |
| <b>答</b> | ご指摘のようにマチヤグワーや大型店舗だけでなく、マチヤグワーや小規模商店(マチヤグワーや)にも配慮できないか。                                |
| <b>問</b> | 特定事業者(地域振興券を利用できる店)は、大型店舗だけでなく、マチヤグワーや(小規模商店)にも配慮できないか。                                |
| <b>答</b> | ご指摘の如くにマチヤグワーやにも配慮して、特定事業者の登録は公募していきたい。  |

## 庁舎へのアクセス歩道



## 問

米軍基地内にできた新庁舎を迂回して利用しなければならぬ不便さに対応するための桑江地内から庁舎への歩道専用道路の検討内容は。

## 答

今回は基本調査費用として予算計上している。道路延長は二百五十メートル、幅員は四メートルを予定。

## 問

米軍基地内にできた新庁舎を迂回して利用しなければならぬ不便さに対応するための桑江地内から庁舎への歩道専用道路の検討内容は。

# 一般質問

**泉朝秀**

- 北谷町庁舎へのバス運行について
- 旧北谷町役場の跡地利用について
- 公共工事の予定価格の事後公表について
- 生涯学習支援センターについて

**答** 運行についていくらかの費用負担での交渉内容か。費用負担について特段の要望はないが、路線変更については、運転手一人の増員もあつたと聞いており、今後は路線の採算面の問題もありご利用方についてご協力いただきたい。

**答** 旧北谷町役場の跡地利用について、児童館建設のための地主との交渉は進んでいるか。

**答** 去る十一月十二日地主との話し合いの結果、借地として使わせていただくなっているか。

**答** 十一月十四日に那覇施設局から内示通知の連絡を受けた。建設予定の生涯学習支援センターの予算内示は受けたか。

**答** 砂辺県営団地裏2号線F棟より田地横の道路多様化、高度化の中で行政が自ら提供する学習機会だけでは住民のニーズに充分に対応することができなくなつたか。

**答** 公民館でなぜ民間活力を導入する構想を持つようになつたか。

**答** この地域は、道路の見通しも良く、車道幅員も6メートル以上あり時速30キロ地帯でスムーズに流れ幅員を確保してある。町としては、道路の中央線のライン引き等による交通安全対策で対応したいと考えております。

**答** 雨天時には水が溜まっている状況は確認している。車道半分を改良しないかと解決できないが、新年度にむけて予算の確保を進めています。

**答** 平成七年に実施計画は完了している。八年には、用地買収及び58号線取付工事を行っている。九年には、埋め立て免許の申請手続きの準備中である。十一年度では、交差点部分で用地取得を計画しており、埋立申請が許可されますと平成十二年度から工事をスタートさせていきたい。

**答** 行政としても「ゆりかごから墓場まで」という行政サービスの基本を確実に合意する機会となると思うが、火葬場の施設等については現状で大きな経済負担がなされている現状であり、この設置計画について町長はどうお考えか。

**答** 生涯学習を振興するため行政、民間、住民の役割を明確にしていく必要がある。行政機関自らが企画、運営する学習機会は学習の内

容や対象等に照らして政策上必要性が高いにも関らず採算性等の面から民間での実施が期待できるようなものに主体的に重点を置くべきだと考えられる。従来の行政で公民館や図書館で実施している公



**答**

宮城一号線から宮城七号線に抜ける道路に廃車が放置され環境を損ねている整備計画は。

**答**

当分の間、道路面の簡易な整備をし平成十一年度以降、財政課と協議し調査測量設計の費用、予算確保に努めたい。

**答**

選挙管理委員を兼ねた職員の給与及び報酬が、今回補正予算に計上されない理由は。

**答**

選挙管理委員を兼任した一般職の職員の本務中選挙管理委員として勤務した時間に対する給与の還付請

**答**

部局の職員には町長が、議会に選挙管理委員として勤務した時間が対する給与の還付請求が、かかる費用を負担する。

**答**

部局の職員には町長が、議会に選挙管理委員として勤務した時間が対する給与の還付請求が、かかる費用を負担する。

**答**

火葬場及び葬祭場の設置については、これまでの定例会で再三取り上げてきましたが、町長は三役会、部課長会等でのどのような話し合いをなされたか。町民生活の中

**答**

火葬場の施設等については現状で大きな経済負担がなされている現状であり、この設置計画について町長はどうお考えか。

**新城幸男**

## 1・道路行政について

**問** 浜川千原南線と宮城5号線接続道路の、新設改良の整備計画はないか。

**答** 現在、浜川千原南線の交通量は多くなく、新設となると宮城2号線と5号線の交差点が鋭利な角度になり非常に危険である。又、用地は県の保育林用地であり売買の対応になり、財政的に即新設はきびしいが、現場調査を進めて行きたいと思っています。

**問** 宮城1号線港入口前

の、道路の水溜まりの改良舗装対策について答弁を求めます。

**問** 桃原中央線北谷小学校前十字路の信号機の早期建設と関係機関への要請取組み等はどうなっているか。

**答** 平成十年八月十八日に沖縄署に對し、当該箇所の信号機設置要請を町内の信号機必要な他の箇所も含めて要請を行ってきた。沖縄警察署も理解はしているが、管内信号機設置の予算が三機分の割り当てしかなく苦慮されている。現段階では設置見通しの確約はできない。今後とも関係機関に設置の要請を行っていきたい。

**問** 平成十二年度から介護保険事業が導入され、介護保険業務と保険給付等事務作業が入ってくる。当町の四十才以上及び六十五才以上の方の人員等はどのくらいか。事務作業等の増加による職員の配置計画等はどうなっています。

**答** 本町の四十才以上の人口は九、七三四名で、六十五才以上の対象者は二、三六二名。四十才から六十才までの対象者は七、三七二名となっている。必要な職員は、被保険者管理、賦課徵收部門と要介護認定、受給者管理部



**問** 宮城1号線砂辺食品前より、宮城7号線の整備舗装改良計画はあるのかどうか。

**答** 成人病センター入口前見通しも良く、車道幅員も6メートル以上あり時速30キロ地帯でスムーズに流れ幅員を確保してある。町としては、道路の中央線のライン引き等による交通安全対策で対応したいと考えております。

**問** 桃原中央線北谷小学校前十字路の信号機の早期建設と関係機関への要請取組み等はどうなっているか。

**答** 平成十二年度から介護保険事業が導入され、介護保険業務と保険給付等事務作業が入ってくる。当町の四十才以上及び六十五才以上の方の人員等はどのくらいか。事務作業等の増加による職員の配置計画等はどうなっています。



**答** 運行についていくらかの費用負担での交渉内容か。費用負担について特段の要望はないが、路線変更については、運転手一人の増員もあつたと聞いており、今後は路線の採算面の問題もありご利用方についてご協力いただきたい。

**答** 旧北谷町役場の跡地利用について、児童館建設のための地主との交渉は進んでいるか。

**答** 去る十一月十二日地主との話し合いの結果、借地として使わせていただくなっているか。

**答** 十一月十四日に那覇施設局から内示通知の連絡を受けた。建設予定の生涯学習支援センターの予算内示は受けたか。

**答** 公共工事の予定価格の事後公表を始め、最低制限価格の設定及び談合防止等についても今後の入札制度の改善に向けて業者選定審査委員会の中で検討していきたい。

**答** 公民館でなぜ民間活力を導入する構想を持つようになつたか。

**答** この地域は、道路の見通しも良く、車道幅員も6メートル以上あり時速30キロ地帯でスムーズに流れ幅員を確保してある。町としては、道路の中央線のライン引き等による交通安全対策で対応したいと考えております。

**答** 平成七年に実施計画は完了している。八年には、用地買収及び58号線取付工事を行っている。九年には、埋め立て免許の申請手続きの準備中である。十一年度では、交差点部分で用地取得を計画しており、埋立申請が許可されますと平成十二年度から工事をスタートさせていきたい。

**答** 沖縄県知事選挙において稲嶺新知事が誕生。委員会の中で検討していきたい。

**答** 公民館でなぜ民間活力を導入する構想を持つようになつたか。

**答** 沖縄県知事選挙において稲嶺新知事が誕生。委員会の中で検討していきたい。

**答** 沖縄県知事選挙において稲嶺新知事が誕生。委員会の中で検討していきたい。





# 意見書 採択

# 年金改悪に反対し

# 安心して暮らせる 老後の保障を !!

- 基礎年金の国庫負担割合を3分の1から2分の1に増額し、全額国庫負担をめざすこと。
  - 年金財政の巨額な積立金を計画的に活用し、保険料、掛金の引き上げ、支給額の切り下げ、賃金スライド制の廃止をしないこと。
  - 年金支給開始年齢は当面65歳への繰り延べをやめ、すべての年金について原則60歳支給をめざすこと。

# トピックス

# 北玉小が子ども議会



2月10日、町議会本会議場において、22名の子ども議員が登場。

本番さながらの熱弁に、町長以下執行部側も答弁に冷や汗をかいたかも……。

議長の議会運営もお見事でした。

次代のリーダー誕生に向かって、たくましく育ってほしい。

**第16号発行に寄せて**

第六代北谷町議会・議会広報調査特別委員会が設置され、第2号（通算16号）を発行することができましたことを、関係者各位に心から感謝申し上げます。

議会と町民との「掛け橋」としての役割を重く認識し、議場における審議の内容や委員会等の活動状況を「読みやすく」「わかりやすく」を方針として編集し、双方を結んでいきたい所存でございます。

何分、全委員（6名）がこのような編集作業にかけては素人であり、思われぬ不手際等もあるうかと思いますが、町民（読者）の皆様方からのご指導やご意見・ご要望等をお寄せいただければ誠に有り難く存じます。

さらには、傍聴席まで足を運んで下されば全議員にとつて大きな励みとなり、本委員会としても益々活発な様子をお伝えできるのではと、存じておるところでございます。

どうか今後は、町民と議会との「通い合うの掛け橋」として育てあげて下さればと、切にお願い申上げます。